

# 特許庁尺八サークル

## サークルのご紹介

特許庁尺八サークルは、現在、昼休みの合奏練習等の活動を行っています。尺八で演奏される曲には、虚無僧が吹いた「本曲」と呼ばれる古典曲、「六段の調」「春の海」や地唄等の箏・三味線との合奏曲、民謡などがあり、サークルでは、ジャンルを問わず練習・演奏しています。最近では、尺八合奏用にアレンジした現代の歌謡曲などを練習することが多いです。尺八の演奏を東京竹心会会主の古屋輝夫先生、箏・三味線との合奏をあげぼの会会主の中條操由鶯先生にご指導頂いていますので、尺八の音楽をより深く学ぶこともできます。

尺八は、竹管に歌口と五つの孔を設けたシンプルな構造ですが、息の吹き込み方を変えることによって音程や音色が変化し、多くの奏法がありますので、様々な音を出すことができ、表現の幅が広い楽器といえます。興味のある方は、サークルの尺八を試しに吹いてみることもできますので、お気軽にご連絡を頂ければ幸いです。尺八の音を通して、この国のいたるところにあった情緒・美意識を見つけてください。



## 最近の練習曲

- 「きらり」藤井風
- 「花束を君に」宇多田ヒカル
- 「My Revolution」渡辺美里
- 「Woman “Wの悲劇” より」薬師丸ひろ子
- 「赤いスイートピー」松田聖子
- 「いとしのエリー」サザンオールスターズ

## サークルの歴史とこれまでの主な活動

特許庁尺八サークルは、昭和51年に、堀泰雄さんが中心となって創設され、設立当初には、特実・商標の審査官・審判官が当時の新庁舎・旧庁舎で各曜日別のクラスで活動していました。会員数は最も多いときには29名在籍していました。

昭和59年から平成3年にかけての8年の間に産業音楽祭で祭賞を4回、大賞を4回受賞しています。毎年秋の文化祭では、通産箏曲部とおさらい会（合同演奏会）を開催しました（～平成21年）。

夏から秋に行われた合宿の会場となったのは、津久井町の元農家の空家、秩父の民宿「すぎの子」、奥多摩の国民宿舎「鳩の巣荘」、河口湖畔「富士桜」、西丹沢の「あしがら荘」、成東の民宿「山田」、津久井郡の「美女谷温泉」、箱根湖尻旅館「山越」、KKR光風閣、津久井郡の「おぐら荘」、芦ノ湖キャンプ村、山梨県の「夢遊苑」です（施設名・地名は当時）。合宿会場を書き連ねると、大人数で心おきなく合奏ができるようにと宿泊場所を探し求めた幹事の方々の意気込みが伝わってくるようです。

また、中條先生からのお誘いを頂いて、安曇野での演奏会や東京スカイツリー前夜祭、毎年都内の神社で行われる梅祭り（平成18年～。令和3～4年はコロナのため中止）で演奏する機会を頂いています。

サークルメンバーが別途主宰の津軽三味線クラブの演奏会にも参加しました（平成23～24年）。

職場の仲間と尺八の練習ができる環境をつくって下さった先輩方に感謝しつつ活動を続けています。

連絡先 審判部 第3部門 北川 創